



『まちづくり勉強会』を開催！



テーマ：住民や商店街が主体となったまちづくり

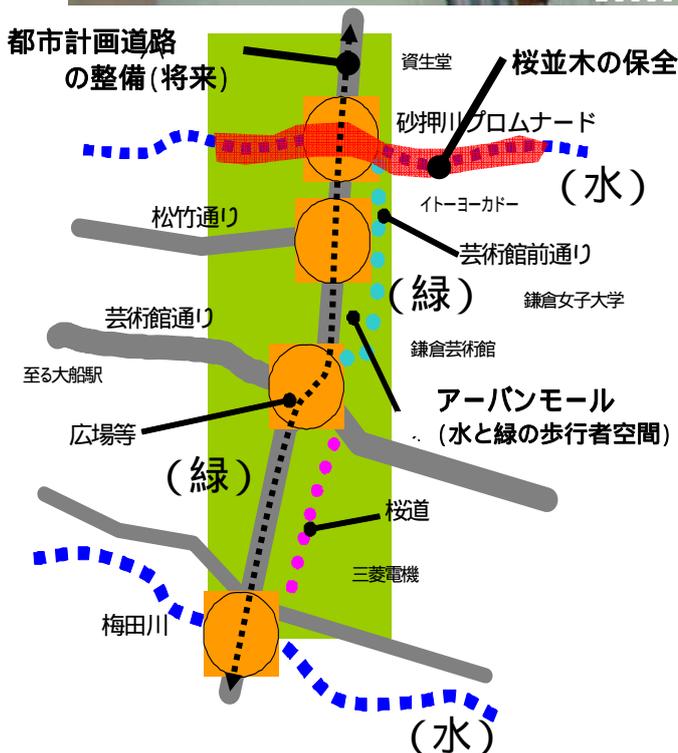
7月18日(水)に、都市デザイナーの大木ジュンさんを講師に迎え、横浜市、川崎市の住民や商店街が主体となった『まちづくりの事例』について勉強しました。

鎌倉女子大学・川口ゼミの学生さんと共同で行っているまちづくり研究の一環として、地域にお住まいの方にも参加頂き、大船キャンパスの教室で開催したものです



地域住民や企業、学生など70名が参加した勉強会の様子

『まちづくり事例』は裏側の見開きの 2・3面 へ



地区で取り組むべきこと

最後に、大木先生から「鎌倉芸術館周辺のまちづくり」で今、取り組むべきことについて助言を頂きました。

都市計画道路「小袋谷笠間線」の将来の整備の姿を今から想定し、地域の軸となる『アーバンモール』(鎌倉芸術館前の通りの沿道・左図参照)での安全・安心な町並みや賑わいづくりを！

住民が主体となって取り組む地域づくりの活動を進めたい！

(砂押川沿いの桜並木の保全)



関連記事 4面 へ

『アーバンモール(水と緑の歩行者空間)』の考え方図

住民や商店街が主体となったまちづくりの事例

勉強会の参加者から、「まちづくりって楽しそう」「まちづくりって地域の工夫次第なんだなあ...」
「まちづくりって地域の思いが1つになると動きだすんだ」「やっぱり住民が主役」という声も...

* 事例① 横浜市、元町クラフトマンシップ・ストリートのまちづくり *

地元商店街や地元住民が共同で、まちづくりのルールづくりや道路整備事業について話し合いを重ね、元町の裏通り(元町仲通り)の活性化に成功した事例です。

照明で雰囲気ある通りを演出



電柱に花を飾り、鮮やかで綺麗な通りに！

* 地中化出来ない電柱を民地に移設！
* 上部を通り側に婉曲、電柱の色を緑色にカラーリング！



交差点部の「路面埋込銘板」と「路面ライト」(銘板の4つ角部、夜間に点滅)

元町仲通りの整備後の様子



道路のレンガは元町発！

昔、フランス人のジェラルドさんが瓦やレンガを元町で初めて生産し、各地へ出荷したという歴史にちなんで、道路整備の際に「レンガ」で舗装したそうです。

* 事例② 川崎市、モトスミ・ブレーメン通り商店街のまちづくり *

地域の方の努力で権利者などの合意形成が整い、沿道の建物や看板の意匠・形態などのまちづくりのルールを定め、街並みや景観の改善と通りの個性を活かしたまちづくりを実現した事例です。

モトスミ・ブレーメン通り商店街の様子



実際は、空を赤色に表示し、検証されています。

商店街を歩いた時、空の見え方を検証し、建物や看板の意匠・形態をルール化！

商店街のイベントの一環で、まちづくりの「パネル展示」や「アンケート」を実施した



商店街は、ドイツ・ブレーメン市ロイドパサージュとの交流を通じて「モトスミ・ブレーメン音楽祭」や「環境にやさしい商店街」として文化・環境活動に取り組まれています。

商店街では、ハード整備をきっかけとして、地元中心のイベントなどソフト面の活動が活発化しました。(商店街が行う活性化のためのイベントは、平成17年以降、例年の行事となっています。)

* 事例③ 横浜市、旧東海道保土ヶ谷宿 松並木・一里塚等再創造プロジェクト *

「地域の資源や歴史を活かしてまちづくりをしたい!」という地元の人達の想いに、学校や地元町内会行政が協力し、視察会や意見交換会を開催。旧東海道の宿場町という地域の歴史と文化を活かしたまちづくりに取り組んだ事例です。

プロジェクトにより植えられた松並木と一里塚【整備後】の様子



一里塚を設け、榎を植樹!

地域の想いが届き、動き出す!

対象エリアの整備前の様子



「横浜まち普請事業」の審査会場で寸劇を披露した時の様子



茨城県へ、植樹する松を1本1本みんなで選び、買いに行った時の様子



* 参加人数で圧倒。寸劇で熱意が伝わり、見事採用!

* 事業資金が得られた!

松並木の整備をイメージした模型(地域の方の自主製作)



* まちづくり事例紹介のまとめ *

まちづくりは、『どんな街にしたいか』『こんな課題を解決し、より良くしたい』という想いをみんなで話し合い、共有することが第一歩だと思います。地域ぐるみでまちづくりに参加し、協力し合うことから始めましょう!

『地域の特性・魅力』を見出し、その地域のまちづくりのコンセプトを定め、進めていけば、みんなが気持ち良く住み続けられるのではないのでしょうか

まずは、できることから。声を掛け合い、地域で話し合いの場を持ち、地域の輪を広げましょう! 地域の輪があればこそ、安心して暮らせる安全な『まちづくり』に繋がるはずですよ

砂押川沿いの桜並木の保全

地域の方（砂押川プロムナード桜愛護会）によるボランティア活動

『樹木医さんと桜の木の診断』を実施！

《6月17日・27日・7月25日の3日間で実施》

* 暑~い中、ボランティアの方と一緒に1本ずつ丁寧に診断していきました。*

砂押川沿い、106本の桜の木を診断して下さったのは、通称・桜博士こと、池本三郎先生です。



*** 7月25日(水)の診断の様子 ***



病気を知らせる
「サルノコシカケ」というキノコ
が生えているのを発見！

診断の結果は、整理・分析し、10月27日(土)に開催予定の「さくら検討会拡大会議(鎌倉さくらみち再生シンポジウム)」で地域の皆様にご報告します。「鎌倉市の広報9月15日号」に案内を掲載予定

『子供達と桜の名前板づくり』を実施！

《8月1日(水)実施》

* 鎌倉女子大学大船キャンパスで「子供達との緑の教室」を開催しました *

地域の15名の子供達が大学生やボランティアの方といっしょに名前板を作製しました。

また、樹木医の池本三郎先生から、「桜について」

クイズをまじえてお話頂き、楽しいイベントとなりました。

名前板を作製中の様子



完成した名前板と記念撮影した様子



プログラムの最後に、手づくりの名前板をみんなで砂押川沿いの桜の木に取り付けました。

~ 斬新なもの、素敵なもの、力作ばかりです。ぜひ一度ご覧下さい！ ~

★ 問合せ先 ★

ご意見等お寄せ下さい。
宜しくお願い致します！

〔まちづくり協議会・さくら検討会事務局〕

大船駅周辺整備課(〒247-0056 大船2-7-8)

電話 0467-45-3970 / FAX 0467-47-3029

E mail ofn_ard@city.kamakura.kanagawa.jp